

5. 作動油の点検と補給



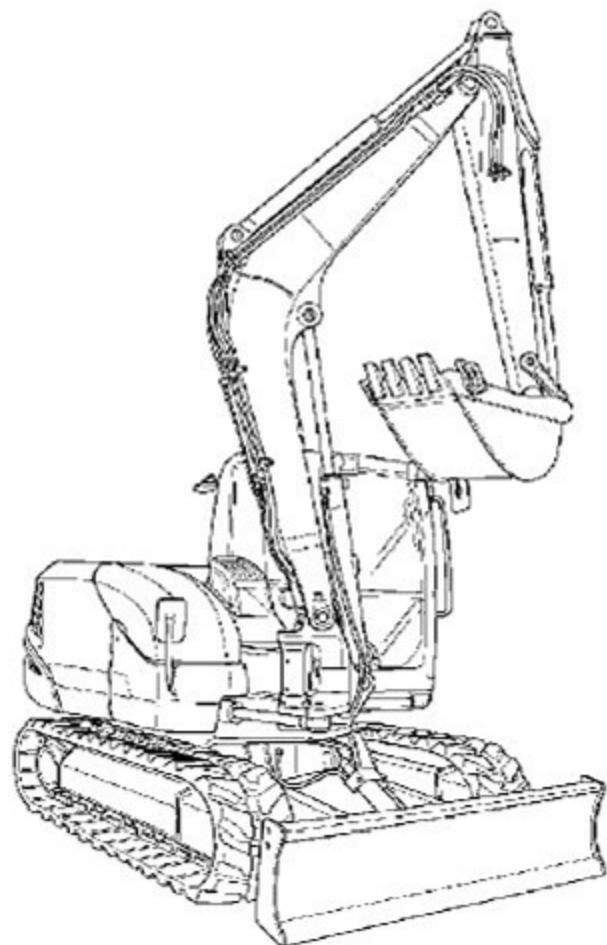
警告

- 油温が完全に下がり、タンクの内圧を抜いてから、作動油タンクの給油キャップを外してください。油が噴出し、ヤケドをする可能性があります。

重要：

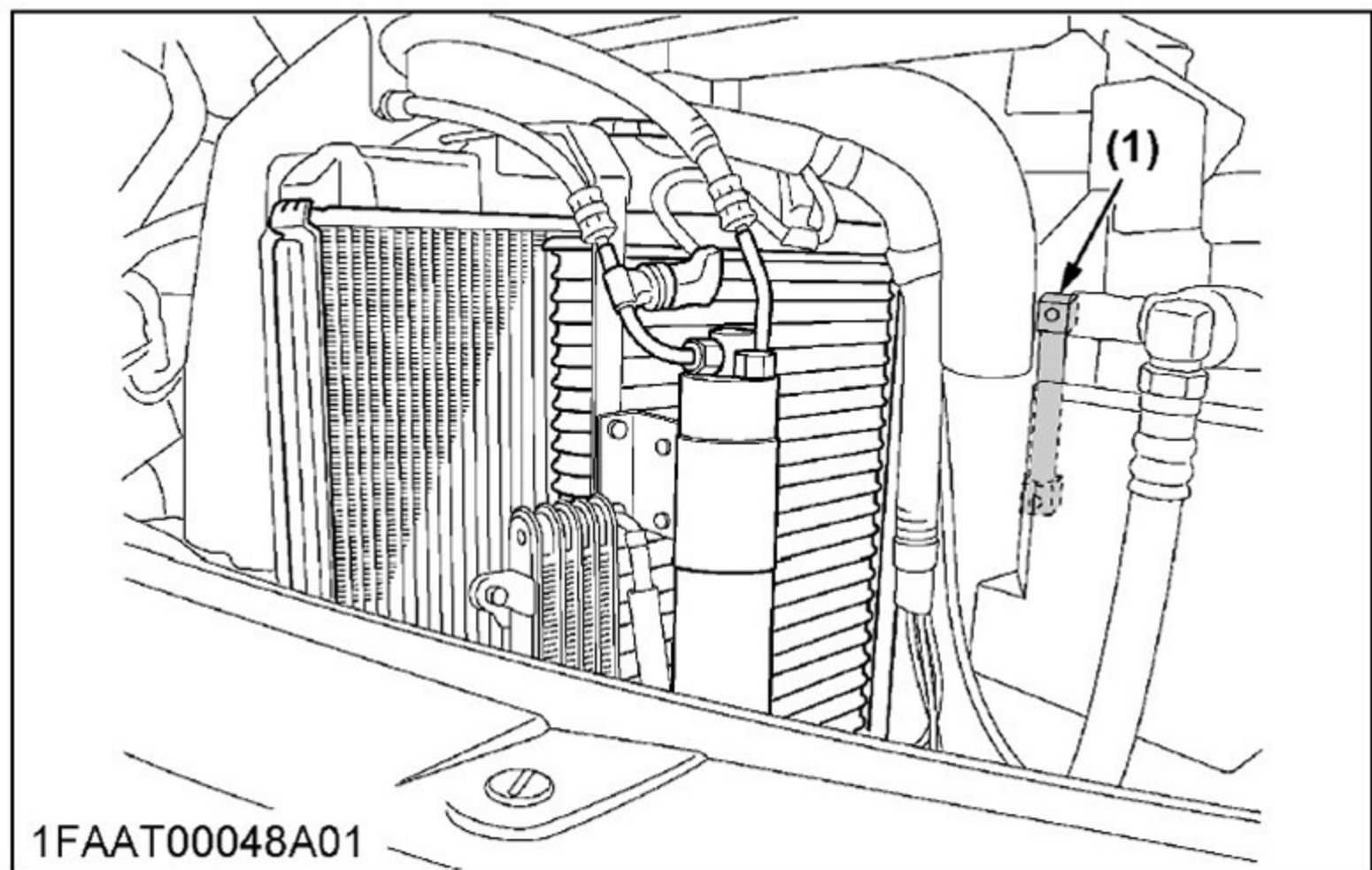
- 補給する場合は、付近の砂やゴミをよくふき取り、必ず同一銘柄の作動油を使用してください。
工場出荷時の作動油銘柄は、推奨オイルとグリース一覧表に記載しています。
(詳細は推奨オイルとグリース一覧表 (148 ページ) を参照)
絶対に他銘柄と混合しないでください。

1. 機体を水平な所に止め、ブーム上げエンド、アームとバケットをかき込みエンド、ブームスイングを左エンドの位置に操作します。バケットおよびブレードを地面に接地します。



1FAAT00047A01

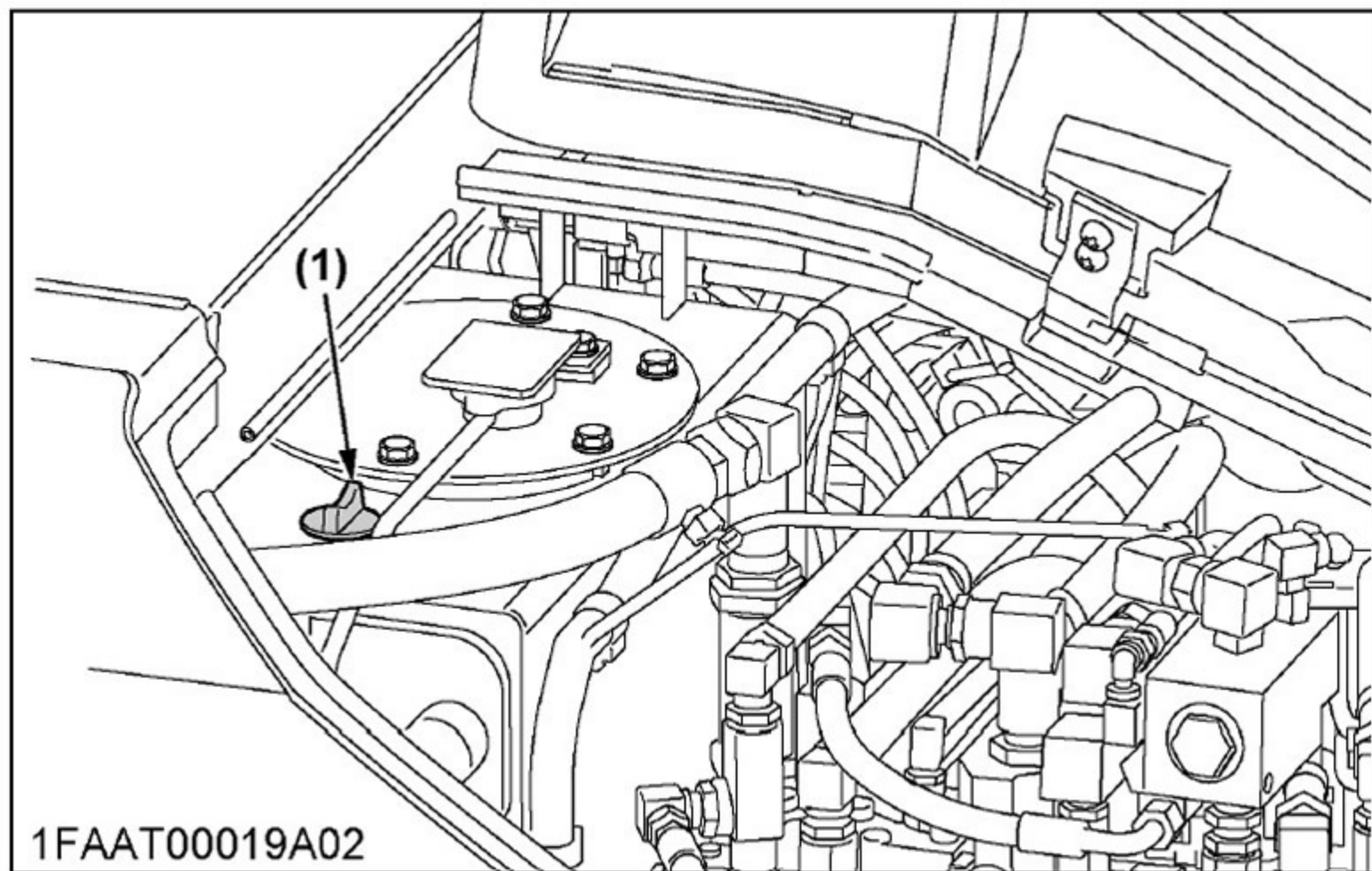
2. 作動油が、常温（10℃～30℃）において油面計の中央になっているか点検します。
油面計の中央にあれば正常です。



1FAAT00048A01

(1) 油面計

3. 不足しているときは、給油口より補給します。
給油キャップを外す前にはタンクの内圧を抜いてください。



(1) 給油口

4. 作動油に水などの異物が混入したときは、全量交換をします。

(全量交換の詳細は作動油、および作動油サクション
フィルタの交換 (123 ページ) を参照)

作動油オイル交換容量	全油量 156 L (油面計中央 : 75 L)
------------	-----------------------------